

**情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）**  
(単施設研究用)

西暦2019年 2月 21日作成

研究課題名	碎石位手術後における下腿部 Deep Tissue Injury の発生因子
研究の対象	2017年1月1日から2018年12月31日までに横浜市立大学附属市民総合医療センターで碎石位にて手術をされた方。
研究目的 ・方法	碎石位手術とは両下肢を挙上しながら行う手術のことを言います。碎石位手術に関する合併症の一つに Deep tissue injury (DTI) というものがあります。下肢に強い痛みを伴い、場合によっては手術が必要になる重篤な合併症です。 本研究では当院で施行された碎石位手術において、術後に DTI を発症した例を調査します。そのうえで、DTI が発生してしまった例の特徴を調査し、今後のさらなる予防対策につなげることを目標としています。 上記に示した期間内に当院で碎石位手術を施行された例を対象とし、過去の診療記録からデータを抽出します。抽出されたデータは鍵のかかる当院医局内のセキュリティ化されたパソコン 1 台です。この研究で得られた成果を論文や学会で発表する場合には個人を特定できる氏名、住所などの個人情報は一切使用しません。なお研究終了後、本研究で使用した情報は 5 年間保存し、その後個人情報が特定できないことを確認した上で廃棄します。また、研究期間中、終了後に閑わらず、個人情報の利用拒否申出があった場合には、速やかに収集した情報を廃棄します。
研究期間	西暦 2019年 4月 24日 ~ 西暦 2020年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	診療録内に記録されているデータ (ID、年齢、性別、身長、体重、手術内容、DTI 発生の有無、血液検査結果) を抽出します。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	

## 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

### 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科（研究責任者）雪澤 洋平

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-252-7470